

会員企業紹介

中国地方の

“輝業”

株式会社ネオナイト

● プロフィール

【株式会社ネオナイト】

- ・設 立：2009年11月
- ・所 在 地：松江市富士見町1番地7
- ・連 絡 先：0852-38-8025
- ・代 表 者：代表取締役 寺山 文久
- ・資 本 金：1,000万円
- ・従業員数：25名



寺山 文久 代表取締役



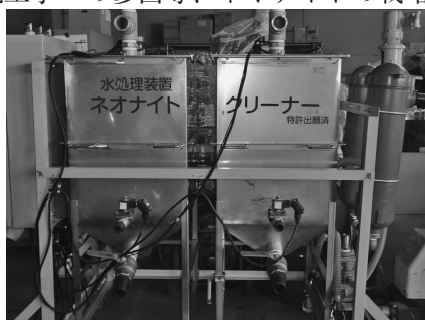
● 地元島根県特産品が原材料

社名にもなっている汚泥排水・土壌処理剤「ネオナイト」の原料は、地元島根県の特産品であるゼオライトである。自然に優しい天然素材を使用することで、清浄化した排水や土壌が環境負荷とならないようにという同社の一貫した地球環境保全へのこだわりにより開発された製品である。事業そのものが社会貢献であるとの自負がある。



● 調査・分析から運営管理にいたるまでトータルサポートが可能

環境省のエコアクション21をはじめ、各種技術認定や許可・認証を取得済み。環境調査、分析から、企画提案コンサルティング、設計施工工事、製作、運営管理にいたるまでトータルサポートが可能である。このことにより経済的競争力も出てくるため、今後は、2020年の東京オリンピック開催へ向けての新規工事への参画等、ネオナイトの戦略は既に東京へ向かっている。



福島で活躍する水処理装置 ネオナイトクリーナー



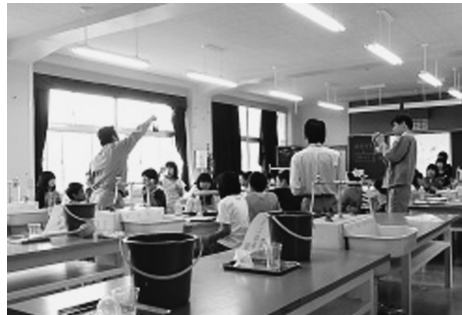
各種分析機器

● 地元の小学校での環境理科授業にも注力

安心・安全な自然由来の原材料からできている「ネオナイト」を使って、地元松江市を中心に小学5・6年生を対象とした環境理科授業を行っている。教材用に独自の技術で錠剤型のネオナイトを開発（特許出願済）。そこには、子どもたちに環境に関心を持ってもらいたい、地元にあるものづくり産業、企業を是非知ってもらいたいとの社長の思いがあった。



学校教材用 ネオナイト



● 福島における木材除染リサイクル及び木質バイオマスガス化発電

ネオナイト工法は、福島県内の除染工事で発生する汚染水処理に採用されているのみならず、伐採、素材生産、木材の汚染の判定、汚染木材の洗浄除染と木質バイオマスガス化発電を一体として組み合わせた、ふくしま森林再生復興モデルとなるシステムの開発・実証に活用されている。ネオナイトの独自工法を再生可能エネルギーと融合させることにより、更なる循環型社会形成の推進を目指している。



木材除染リサイクル及びバイオマスガス化発電
実証プラント（農林水産省・環境省連携事業）



平成26年8月
林 前農林水産大臣がプラントを視察

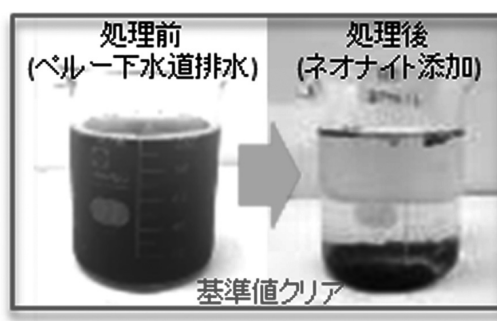
● 島根から世界へ

～中南米ペルー共和国における排水処理ビジネス及び水環境改善事業～

ペルー共和国では、周辺海域の水質悪化や廃鉱山周辺の環境汚染が問題となっており、昨年排水基準が強化されたところ。昨年度から外務省や（独）国際協力機構（JICA）の調査団に参加し現地調査を実施した。来年は政府開発援助（ODA）を活用して排水処理プラントの実証試験等にも携わる予定。今後はペルーの企業との共同事業として、技術移転を含めた水処理装置の現地生産及び販売を推進し、海外におけるネオナイトのシェアの定着、拡大を目指している。



ペルー水道局との排水サンプリング
調査実施状況



（担当：菰下）